

平成25年度 魚沼市理科部 活動報告

小出小学校 佐藤 吉宏

1 活動計画

- 部会 期日：4月17日（木）活動計画づくり
 - 研修会① 期日：8月8日（木）小学校教育課程 研究集会伝達講習会
 - 研修会② 夏季休業中 研修場所：佐梨川上流域での観察会
 - 研修会③ 10月 理科授業公開と協議会の実施
- ※実際の授業を通して、授業改善について研修する場をもち、会員の授業実践力の向上を図る。（今年度は指導者を招聘する。）

2 活動の実際

- 研修会① 実施日：8月8日（木）9：00～ 研修会場：小出小学校会議室
教育課程伝達講習と情報交換 伝達者：広神東小学校 江口 芳樹 教諭
・科学的思考力の向上に向け、「観察・実験の結果を整理し、考察する活動を充実させる」と、「考え、表現したことを伝え合う言語活動の場を設定する」について、推論し、予想を立てる場や学習カード、伝え合いの場づくり等、数々の工夫が紹介された。
・日々の授業での悩みや実験準備・教材提示の工夫について情報交換を行った。
- 研修会② 自然観察会
実施日：8月19日（木）9：00～
研修会場：佐梨川上流域
・魚沼市理科センター山際 貢 指導主事を講師に佐梨川上流域の川の形状、周辺の植物、動植物について上流から順に4カ所で観察を実施した。
- 研修会③ 理科授業研修会
実施日：11月25日（月） 14：05～
研修会場：魚沼市立小出小学校
単元：3年「明かりをつけよう」 授業者：小出小学校 乾 清志 教諭



「確かな考えをつくる」～伝え合い学び合う授業をめざして～を研究主題に取り組んでいる小出小学校で、伝え合いの場をつくる授業を公開した。児童は実験に集中して取り組み、実験結果を言語化して他のグループに伝えようとしていた。（左写真 実験ボードでの伝え合い活動）

理科センター山際指導主事のご指導、参会者との協議会では、今回の実験が発展的な内容であるので、基礎基本との関連から単元構成を再検討する必要があるとのご指摘をいただいた。

また、伝えること等言語活動が授業目標にならないように、理科の指導内容の定着を図る上で、手段であることに留意することが大切とのご指導をいただいた。

3 成果と課題

(1) 成果

- 自然観察会では河川の形状変化を4地点で比較観察する機会を得て参考になった。
- 今年度も授業研修会を実施できた。昨年は会員のみで行った授業後協議会では、理科センター指導主事を指導者に迎え、「問題解決の成立要件」や「問題解決過程」の中での「科学的思考」や「考察」とのかかわりについて授業改善の視点をご指導いただく機会を得た。今後、会員が単元づくりの進める上で貴重な資料も頂戴した。

(2) 課題

- 科学的思考の力を向上させていくためには、「問題解決過程」をしっかりと位置づけた単元構成が必要である。認知的葛藤から問題成立、そして解決への見通し付けへと子どもの追求意識を核にした学習過程について更に知見を深めたい。